学校番号	１１３

令和３年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年	２年
類型等	必履修						
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	生活学 Navi 資料＋成分表 2021　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科は、人間が生まれてから死に至るまでの間に起きるすべてのことを網羅している科目です。
食生活や被服、人生設計、家族や福祉、住生活や消費生活といった生活の営みを学ぶことで、今後の人生で役に立つ技術や考え方を身につける一助となるでしょう。
もちろん、知識だけに偏らず、実際に手や体を動かして体験することも大切です。そのために行われる実習では、クラスメートとのコミュニケーションを大切にしながら、積極的に参加してほしいと思っています。
早ければ、２年後の卒業と同時に自立をする生徒も出てきます。
卒業後の人生で学びを活かせるように、各分野に興味を持って、積極的に授業に取り組んで下さい。

２　学習の到達目標

人の一生と家族、高齢者の生活と福祉、保育、被服、食生活、住生活、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させる。また、その中で、生活課題を発見するとともに、課題解決、生活の充実向上を図る能力と実践的態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住、消費生活などについて関心をもち，その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに，実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述， 調理計画（レポート）や自己評価 定期考査の結果　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述， 調理計画（レポート）や自己評価 定期考査の結果　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述， 調理計画（レポート）や自己評価 定期考査の結果　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述， 調理計画（レポート）や自己評価 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期～2学期	衣生活をつくる	○被服の役割を考える ＊筆箱等の製作実習 ＊衣生活、マナー ＊燃焼実験 ○被服を入手する、管理と計画 ＊被服と表示 ＊界面活性剤の働き	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:被服管理と着装，健康で快適な衣生活，ライフスタイルと環境に関心をもち，意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:被服管理と着装，健康で快適な衣生活などについて，課題を見いだし，その解決をめざして考え，適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画，被服整理などの技術を身に付けている。 d:被服の機能と着装，被服材料，被服の構成，被服管理などについて科学的に理解し，健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 製作計画 実習レポート 製作物 定期考査
2学期～3学期	食生活をつくる	○食生活の管理と健康 ○食事と栄養・食品 ＊ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾜｰｸ(栄養素) ○食生活の安全と衛生 ○調理の基礎 ＊調理実習２回予定 （11月～２月にかけて） ・和食 ・洋食	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活，ライフスタイルと環境に関心をもち，意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康，安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし，その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d:栄養，食品，調理，食品衛生，ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し，健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 実習態度 ワークシート 実習計画 実習レポート 定期考査

2学期～3学期	自分らしい人生をつくる	○家族･家庭を見つめる ＊家族法クイズ ＊結婚の条件 ○これからの家庭生活と社会 ＊ワークライフバランス ＊労働法規 ＊18 歳成年年齢	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:家族・家庭の意義や役割，男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち，意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:生涯発達の視点から家族･家庭と社会との関わりについての課題を見いだし，その解決をめざして考え，表現している。 c:事例研究などを通して，家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。 d:生涯発達の視点から，家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し， 人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 レポート ワークシート 小テスト 定期考査
	経済生活を営む・生活を設計する	○これからの消費生活と環境 ○消費者としてできること ○持続可能な社会をめざしたライフスタイル ＊消費行動から考える ○生涯を見通す ○目指すライフスタイルを考える ○生涯を見通した生活設計	○	○	○	○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理，生活設計について関心を持ち，意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理，生活設計について，考え，工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理，生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理，生活設計のために必要な知識を身に付けている。	
	子どもと共に育つ	○子どもの育つ力を知る ○親として共に育つ ＊子どもの心身の発達 ＊子どもの生活と保育 ＊潜在危険（住居・被服）	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち，実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について，家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし，その解決をめざして考え，表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり，子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し， 家族・地域・社会の果たす役割を認識するため	授業観察 実習態度 ワークシート 定期考査

	住生活をつくる	○住生活の機能と変化 ＊住まいの役割と気候 風土・地域性 ＊住み方の次代による変 遷 ＊住み方と間取り ＊平面図の読み取り方 ○住まいは暮らしの器 ・安全で快適な住居 ＊住宅広告を読み取る ＊一人暮らしに必要な 家具、道具、部屋を探す	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:住居と住環境，安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち，意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住居と家族の生活，安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし，その解決をめざして考え，適切に判断し表現している。 c:安全で快適，かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能，住環境などについて科学的に理解し，安全で快適，かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。